

施策分析シート（平成19年度）

No1

施策名	余暇を利用した学習機会の提供	施策No	04-08	部課名	教育委員会事務局社会教育課
				課長名	阿部忠資
				内線	3350
関連部課名	教育委員会事務局庶務課、教育委員会事務局学務課、教育委員会事務局指導室				
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			

目的	放課後や土・日曜日、長期休業期間に、既存施設を活用し児童生徒の学習や運動の機会を提供する。
-----------	---

指 標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (28年度)	
	校庭利用年間延べ人数	31,893	34,309	32,341	37,800	44,400	目標実施回数×実施一回あたりの目標利用人数
	チャレンジサタデー実施率	106.1%	99.4%	100.0%	100.0%	100.0%	実績 / (全学校×10回)
	小学校科学教育センター参加者数	40人	48人	48人	53人	60人	収容人数
	中学校科学教育センター参加者数	43人	42人	60人	51人	60人	収容人数

現状と課題（指標分析）	<p>校庭など既存の教育施設を活用して、児童生徒の学習や運動の場を提供してきており、今後も引き続き実施していく必要がある。</p> <p>校庭開放や校庭利用事業は、児童生徒の安全確保と場所を提供するため、区民や保護者の協力を得て事業運営しているが、区民参加を一層進めていく必要がある。</p> <p>平成14年度から開設を休止している八ヶ岳学校キャンプ場について、今後の処分・転用方針が検討課題になっている。</p>
--------------------	--

今後の方向性	<p>[平成19年度]</p> <p>区内における広場や空き地の状況を踏まえ、既存の教育施設を有効に活用するとともに、利用者数の増加を図るため、地域や保護者の協力を得ながら、事業内容の吟味と運営方法の改善を検討していく必要がある。</p> <p>[平成20年度以降]</p> <p>引き続き、区内における広場や空き地の状況を踏まえ、既存の教育施設を有効に活用するとともに、利用者数の増加を図るため、地域や保護者の協力を得ながら、事業内容の吟味と運営方法の改善を検討していく必要がある。</p>
---------------	--

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
B	B	既存施設を有効活用した本施策は区民ニーズも高く、運動・遊びの場が十分にあるとはいえない区内において、子どもの健康と体力の向上に寄与するものであるため、重要な施策である。

施策分析シート（平成19年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		17年度	18年度	前年度 設定	今年度 設定	
週五日制校庭開放事業	12-01-15	714	714	C	C	生徒の利用状況を踏まえ、事業の見直しを図る必要がある。
八ヶ岳学校キャンプ場	12-03-34	143	188	D	D	休止状態が4年以上継続しており、他の活用策を検討する。
校庭利用運営費	12-04-04	4,825	4,569	C	C	児童に安全な遊び場を提供している。
チャレンジサタデー教室	12-06-08	789	0	A	C	児童・生徒に対して、様々な休日の過ごし方を考えさせる場として、継続して実施していく。
科学教育事業運営	12-06-40	956	974	B	B	多様な科学教育の実施は不可欠であるが、参加者数の増加に向けた改善策を検討すべきである。
合 計		7,427	6,445			